

紙面紹介

2面 組織拡大: JMITU/晴海選手村土地投げ売り/地域ブロック組織化宣伝/大学卒業式宣伝
3面 フォーラム: 首都大から都立大へ/築地報告集会/目黒: 平和と社会保障を守るデモ集会/江戸川: 最賃宣伝読者の声/パズル/東京の今昔/今後の行動予定/相談の窓
4面 E-mail lapaz@chihyo.jp
URL http://www.chihyo.jp

TOKYO はたらく仲間

192

2019年4月15日 (毎月15日発行)

発行 東京地方労働組合評議会(東京地評)
定価 1部40円(送料別)
〒170-0005 豊島区南大塚 2-33-10 東京労働会館
TEL 03(5395)3171
FAX 03(5395)3240

署名・宣伝・憲法集会 三位一体で改憲阻止へ

許すな 安倍9条改憲

憲法改正の是非が争点の一つとなる夏の参院選を控え、安倍政権は、憲法審査会を開き、国民投票法改定案を呼び水に改憲審議への道筋をつけようとしています。「安倍政権に憲法改定を語る資格はない」という世論を上げ、水際で撃退するための野党共闘の必要性を示すことが重要です。

安倍政権は、参院選勝利を前提に、今年中の改憲原案提出や国会発議を視野に入れ、継続審議と定案を今国会中に成立させ、改憲審議をおし進める道筋をつける「安倍政権下で改憲を実現するシナリオ」(政権幹部)を描いています。憲法審査会開催を許さず、スケジュールを遅らせることが安倍改憲シナリオを揺るがす鍵であり、「安倍改憲を認めない」世論の大きさがそれを確かなものとなります。そのために、



北区アクションの駅頭宣伝の様子

①3000万署名を職場でもう一回り広げる、②駅頭・繁華街などでの宣伝を元気づけよう、③53000万署名をい一度、職場で取り組むことが重要です。2017年10月の衆院選挙後に事実上スタートした3000万署名は、職場での取り組みが一巡し「ひと段落・踊り場状態」(単産幹部)という声がかかります。しかし、新年度をむかえ新入社員や異動者に声をかけ呼びかけるチャンスです。以前は署名に賛同しなかった人が、統一地方選・参院選という「政治の季節」を迎えるなかで署名したという経験も生まれています。幹部を先頭に、4月中旬に一度署名をよびかけると、憲法東京共同センター作成の憲法まんがリーフの活用もお薦めです。

元気よく街宣で世論づくり

3月下旬からの全都いっせいゾーン宣伝(憲法東京アクション100)は、102カ所での実施で成功しました。統一地方選挙を前に、安倍改憲阻止の世論を喚起することができました。たとえば、新宿区労連は、「みんなの新宿をつくる会」として高田馬場駅前にて26人で実施。ウエットティッシュ400枚を配布し、署名40筆を集めました。区内の様々

5・3憲法集会を10万人で成功させよう

国民世論の根強い反対に押されて憲法審査会は今国会でいまだ審議に入

安倍首相は、国会で3分の2を占めている今のうちに改憲に踏み切らなければと焦りを強めており、今後の動向に気を抜けない状態が続きます。このような情勢の下で開かれる5・3憲法集会は、とりわけ重要です。有明防災公園で行われる首都圏集会を10万人規模の参加で成功させることは、参議院選挙勝利とともに安倍政権を追い込む大きな力となります。署名よびかけと同時に集会参加をよびかけることがポイントです。集会成功に向け、メーデーとともに、単産・地域の総力をあげて取り組みましょう。

19春闘

3・14統一行動 全地域ブロックで統一ストや宣伝

4・10東京集中行動 厚労省前行動と国会デモ



MIC主催「私たちの知る権利を守る首相官邸前行動」(3/14)

回答指定日翌日の3月14日、東京春闘・東京地評では全地域ブロックで統一ストライキや宣伝を取り組みました。MIC主催の「私たちの知る権利を守る首相官邸前行動」は、千代田春闘、中央区春闘も共催し、700人が集まる行動となりました。

4月10日は、東京春闘、国民春闘、官民共同実行委員会、JMITU中央行動による東京集中行動を実施。雨と寒風の中、昼休み厚労省前行動と国会請願デモに250人以上が参加しました。19春闘の回答状況は厳しい局面ですが、粘り強く奮闘しています。

署名1万2千筆を提出



国会議員(右側の2人目から4人)に署名を手交(衆院第1議員会館内 3/25)

横田オスプレイ配備、辺野古土砂投入反対院内集会

オスプレイ反対東京田にもオスプレイいらな... 撤回求める院内集会を衆院第1議員会館内で開催し、151人が参加しました。東京地評・荻原淳議長の開会あいさつのもと、辺野古新基地建設の問題などで首相官邸を厳しく追及してきた、東京新聞・望月衣塑子記者が「メディアの果たす役割とは」をテーマに講演しました。望月さんは、官房記者会見での自身に対する質問制限の経過と真相を詳しく解説。「市民の

声を吸い上げ、社会を動かすジャーナリズムの実現を」と訴えました。横田基地の撤去を求める西多摩の会・窪田一忠さんの特別報告のあと、立憲民主党の初鹿明博衆院議員、日本共産党の宮本徹衆院議員、吉良よし子、山添拓両参院議員が連帯あいさつ。連絡会から議員の皆さんに、署名1万2千筆を手渡ししました。今後も署名を中心に運動をすすめ(次回署名提出は参院選後を予定)、オスプレイ配備撤回を求める議会決議や意見書採択運動に取り組みなどの行動提起がされました。